

青森における地域社会の課題を改めて捉え返し、地域価値の創造を通じて住民が幸せと生きがいを持てるよう、「新時代の社会の構築、新時代の青森の構築」において、夢と希望と情熱とロマンをもって挑戦している各領域の専門家が結集します。

<p>[第1回]</p> <p>10/6 火</p>	<p>「地方創生時代における地域経営の課題と展望 —青森の観光産業による地域経営に向けて—」</p> <p>[講師] 地域経営未来総合研究所長・札幌学院大学名誉教授 藤永 弘</p>
<p>[第2回]</p> <p>10/13 火</p>	<p>「地方創生時代におけるグローバル化戦略 —青森のグローバル化と貿易促進に向けて—」</p> <p>[講師] 日本貿易振興機構・青森貿易情報センター所長 奥 貴史</p>
<p>[第3回]</p> <p>10/27 火</p>	<p>「地方創生時代における情報ネットワーク戦略 —青森における情報利活用のさらなる推進に向けて—」</p> <p>[講師] 青森公立大学准教授 木暮 祐一</p>
<p>[第4回]</p> <p>11/10 火</p>	<p>「地方創生時代における地域イノベーション創造戦略 —青森の地域イノベーションに向けて—」</p> <p>[講師] 青森公立大学講師 野呂 拓生</p>
<p>[第5回]</p> <p>11/13 金</p>	<p>「地方創生時代における経営戦略 —青森の心づくし企業とWe love Aomori Clubのご提案—」</p> <p>[講師] 多摩大学教授 志賀 敏宏</p>
<p>[第6回]</p> <p>11/17 火</p>	<p>「地方創生時代における地域経営 —青森の『幸せと生きがい』の地域づくり戦略形成—」</p> <p>[講師] 青森公立大学教授 遠藤 哲哉</p>

[時間] 18時30分～20時30分(開場18時15分)

[場所] フェスティバルシティ・アウガ5F(カダール研修室)

[対象] 一般社会人、学部大学生、大学院生、高校生

[定員] 各回50名(先着順)

申込方法 開催日前日(必着)までに受講を希望する演題名・開催日と、住所・氏名(ふりがな)・性別・年齢・電話番号を明記し、郵送、FAXまたはE-mailでお申込みください。

青森公立大学地域研究センター公開講座係

[郵 送 先] 〒030-0196 青森市大字合子沢字山崎153番地4

[FAX送信先] 017-764-1564

[E-mailアドレス] kouza@bb.nebuta.ac.jp

受講料
無 料

地方創生時代の「地域経営」を考える

—若者、女性、高齢者の英知を活かし、

地域価値の創造をめざして—

地方創生時代の「地域経営」を考える

— 若者、女性、高齢者の英知を活かし、地域価値の創造をめざして

【第1回】 10/6 火

「地方創生時代における
地域経営の課題と展望
—青森の観光産業による地域経営に向けて—」

【講師】 地域経営未来総合研究所長・札幌学院大学名誉教授
藤永 弘

地方創生時代を迎えて、「経営学・会計学・マーケティング・経営工学・経営情報学」等の理論的・実践的成果を取り込んだ「青森の地域経営能力」が試されると共に、青森の有形・無形の地域資源を有効活用する地域経営能力を発揮できる絶好な機会の到来である。本講座では、青森の地域資源を活用した「観光産業の振興」に焦点を当てながら、「地域経営学の有用性と青森の地域経営の課題と展望」について考察することにする。

【第2回】 10/13 火

「地方創生時代におけるグローバル化戦略
—青森のグローバル化と貿易促進に向けて—」

【講師】 日本貿易振興機構・青森貿易情報センター所長
奥 貴史

日本は人口減少社会を迎える中、地域の活性化を図るべく、新興国等世界の経済成長や活力を取り組むことは、わが国の経済発展を考える上で重要な課題となっている。海外販路開拓は、青森県内企業でも関心が高まっている。言語や環境、制度も異なる海外への販路開拓について、どのような魅力や課題があるのかを実際の輸出等の取組み事例を交えながら、青森の貿易のグローバル化について考えていく。

【第3回】 10/27 火

「地方創生時代における情報ネットワーク戦略
—青森における情報利活用のさらなる推進に向けて—」

【講師】 青森公立大学准教授
木暮 祐一

わが国は、OECD（経済協力開発機構）加盟国中、情報通信技術（ICT）において、光ファイバー率、ブロードバンド率、ブロードバンド料金、3G（以降）携帯電話比率で堂々1位に輝く。しかしながら利用率に関しては遅れを取っており、とくに青森県での利用率は最下位を競う状況にある。ICTの有効活用によって業務の効率化や地域活性化などに成果を出せる。他県の最新事例などを紹介しながら今後の理想的なICT利活用を展望する。

【第4回】 11/10 火

「地方創生時代における
地域イノベーション創造戦略
—青森の地域イノベーションに向けて—」

【講師】 青森公立大学講師
野呂 拓生

地方創生時代においては、地域が主体的に課題の解決や将来の選択を行なうことが不可欠である。しかし、「地域」と「主体的」というキーワードをリンクさせることが、いまだ難しいのが現実かもしれない。本講座では、クラウドファンディングや社会的起業など、東日本震災以後に活発になった地域発のイノベーションにかかわる取り組みを通じて、「地域」が「主体的」に行動して変革を成し遂げるための道筋を考察する。

【第5回】 11/13 金

「地方創生時代における経営戦略
—青森の心づくし企業とWe love Aomori Clubのご提案—」

【講師】 多摩大学教授 志賀 敏宏

「青森には、日本でも有数の『心づくし』企業がある、心づくしで資源を活かす企業家がいらっしやる」…青森公立大学の教員として、8年間過ごす機会をいただいた私の実感である。「心づくし」が青森の最大の財産だと思う。心づくしの企業家の皆様と全国をつなぐ「We Love Aomori Club」を提案する。リアルとバーチャルで青森と全国をつなぐ。全国には青森ご出身者やそのご親族、私のような熱烈な青森ファンがいる。特産品のネット通販、体験観光、観光、環境保護支援、JUターンで新たな青森の賑わいを生み出しましょう。

【第6回】 11/17 火

「地方創生時代における地域経営
—青森の「幸せと生きがい」の地域づくり戦略形成—」

【講師】 青森公立大学教授
遠藤 哲哉

青森の潜在的資源を活かしつつ、市民が「幸せと生きがい」を感じる地域社会の形成へ努力を傾けていくこと、その地道なプロセス自体が、地域経営、とりわけ地域における観光業の振興にもつながっていく。優れた地域実践においては、魅力的なストーリー（物語）がその実践のプロセスにおいて紡ぎ上げられつつ、諸経営が地域において戦略的に行われているように思います。その理念と方法を国内外の取り組みを紹介しつつ、検討していく。

※講師・演題は変更になる場合があります。

お申し込みについて

「FAX」「E-mail」「郵便はがき」のいずれかの方法でお申し込み下さい。
電話でのお申し込みは受け付けておりません。

FAX 申込先：青森公立大学事務局 FAX.017-764-1564

※この用紙に必要な事項をご記入のうえ、切り取らずにFAX送信してください。

【地方創生時代の「地域経営」を考える】

お名前(ふりがな)	性別	年齢
	男 ・ 女	才
ご住所 〒	お電話番号	
参加を希望する日程に ○をつけてください	※日中、ご連絡のとれる番号をご記入下さい。	
第1回 ・ 第2回 ・ 第3回 ・ 第4回 ・ 第5回 ・ 第6回		

E-mail

①演題名②お名前(ふりがな)③郵便番号・住所④性別⑤年齢⑥電話番号(日中連絡のとれるお電話)を明記のうえ、kouza@bb.nebuta.ac.jp へ送信して下さい。

郵便はがき

①演題名②お名前(ふりがな)③郵便番号・住所④性別⑤年齢⑥電話番号(日中連絡のとれるお電話)を明記のうえ、以下の宛先にお送り下さい。

【宛先】〒030-0196 青森市大字合子沢字山崎153-4 青森公立大学地域研究センター 公開講座係